学校番号	301

令和５年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	地理Ｂ(文)	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	新詳地理Ｂ(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE(帝国書院)、サクシード地理(啓隆社) ウィニングコンパス(東京法令出版)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理Ｂでは、２年生で学習した地理Ａの内容を基礎にして、人間の経済活動や文化活動の地域的展開について深く学びます。世界各地を比較検討し、その特殊性や共通性を学び、国際人としてのものの見方や考え方の構築に役立てます。様々な地域の人々の活動を自分のこととして置き換え、判断、思考するように努めましょう。この３単位の地理では、主に経済産業、社会、文化について系統的に学びます。世界各地の様子を把握したあと、まとめとして、様々な情報を地図化して地理的情報を読み取る練習をしましょう。

２　学習の到達目標

１、現代世界の諸地域について歴史的背景を踏まえて地誌的に考察することができる。
２、ある地理的事象がそこにみられる理由や背景を考察することができる。
３、世界各地の地域的特色を共通性と特殊性の視点から追究することができる。
４、地域の変容を捉え、地域の課題や将来像について考察することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本や世界が抱える地理的な諸課題について、関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	日本や世界が抱える地理的な諸課題について、これまでの歴史的経緯などをふまえ、その解決の方向性や将来像などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	現代世界の日本や世界に関する統計などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに全世界が抱える地理的な諸課題の原因や今後の展望などが読み取ることができる。	さまざまな規模の地理的な諸課題を抱える日本と世界の現状と今後重要となる取り組みを理解し、その知識を身につけている。
評価方法	発表 レポート	定期考査 小テスト	定期考査 発表 小テスト	定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	現代世界の系統地理的考察	○自然環境 ○資源と産業 ○人口、村落・都市	○	○		○	a: 地理的事象を捉えるため地図活用技能や地理的環境や世界の諸課題を理解しようとしている。 b: 資料を活用して地理的事象の共通性や多様性を捉える視点や方法を考察し、主題図や統計を活用して比較関連づけ、各地の文化事象の特徴を適切に表現できる。 c: 地理的事象を地図化するために必要な資料を収集し、統計、文献等の資料を活用して必要な地理的情報を読み取ることができる。 d: 地理的事象を捉える方法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 小テスト 発表 レポート等
後期	現代世界の系統地理的考察	○生活文化 ○民族・宗教	○		○	○	a: 地理的事象を捉えるため地図活用技能や地理的環境や世界の諸課題を理解しようとしている。 b: 資料を活用して地理的事象の共通性や多様性を捉える視点や方法を考察し、主題図や統計を活用して比較関連づけ、各地の文化事象の特徴を適切に表現できる。 c: 地理的事象を地図化するために必要な資料を収集し、統計、文献等の資料を活用して必要な地理的情報を読み取ることができる。 d: 地理的事象を捉える方法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 小テスト 発表 レポート等
	さまざまな地図と地理的技能	○地理情報と地図 ○地図の活用と地域調査	○	○	○	○	a: 地理的事象を捉えるため地図活用技能や地理的環境や世界の諸課題を理解しようとしている。 b: 資料を活用して地理的事象の共通性や多様性を捉える視点や方法を考察し、主題図や統計を活用して比較関連づけ、各地の文化事象の特徴を適切に表現できる。 c: 地理的事象を地図化するために必要な資料を収集し、統計、文献等の資料を活用して必要な地理的情報を読み取ることができる。 d: 地理的事象を捉え方法を理解し、その知識を身につけている。	小テスト 発表 レポート等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解